

公告 昭 37.7.27 出願 昭 34.10.22 実願 昭 34-56506

考 案 者 柳 沢 明 東京都足立区梅島町1栗林写真工  
業株式会社内

出 願 人 栗 林 敏 夫 東京都足立区梅島町1

代理人 弁理士 旦 六 郎 治 外1名

(全2頁)

一眼レフレックスカメラのF P接点作動装置

図面の略解

図面は本案一眼レフレックスカメラのF P接点作動装置の構造を示すもので、第1図は本装置を備えた一眼レフレックスカメラの底板を除いた底面図、第2図は要部の斜面図、第3図はその一部の拡大断面図で、図中同一符号は同等部分を示す。

実用新案の説明

本案はカメラ本体の底部に反射鏡回動用の主軸を枢支し、この主軸にカム片を取付けてF P接点を開閉するようにした一眼レフレックスカメラのF P接点作動装置に係るもので、図中1はカメラ本体を示し、2は本体の上面端部に設けたセツトレバーで、これにより回転される歯車3と係合する歯車4を、本体の底部に水平に枢支した主軸5に遊挿する。6は歯車4に一端を連結して該主軸に巻回した蓄勢ばねで、その他端を主軸に固挿した筒片7に連結し、この筒片には弧状の切欠8(第2図)を備えた鍔9を形成する。また10は本体1に枢支11した回動片で、その後部に切欠8と係合する爪12を挾持し、かつこの回動片の前端と係合して、該切欠および爪の係合を保持する押圧ばね13を本体に固定する。しかして該回動片の前端と係合すべきシャッター杆14を本体に縦設し、その上端を本体の前面上部に斜設してシャッター鉤14'とする。さらに15は主軸5の先端に取付けた反射鏡16を回動する連杆で、この取付部に近くF P接点17を設け、これを開閉するカム片18を主軸に嵌合してビス19等により調整可能に取付け

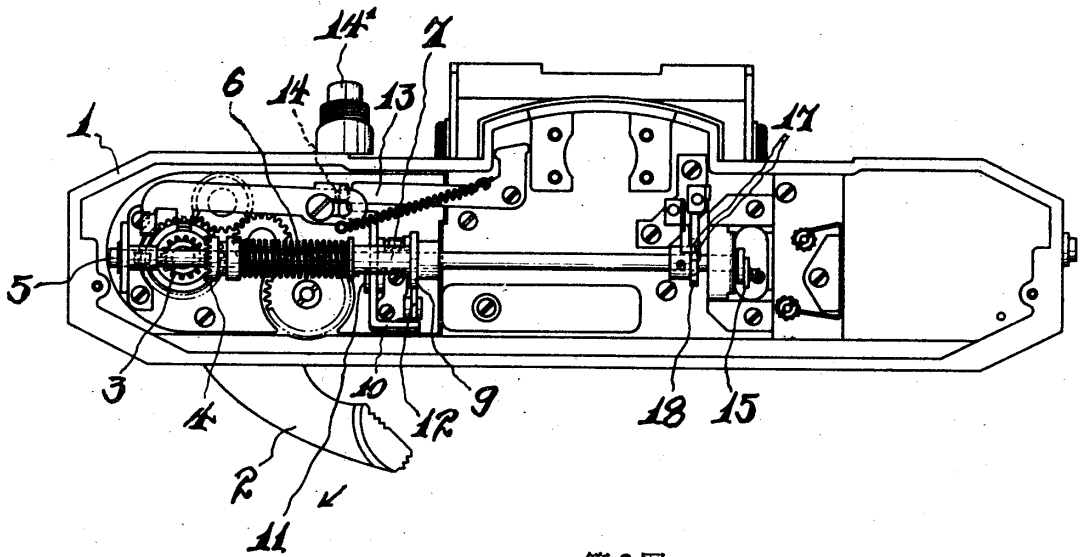
る。

本案一眼レフレックスカメラのF P接点作動装置はこのような構造のもので、第1図において、セツトレバー2を左方へ回動すれば、周知の機構でフィルムを巻取ると共にシャッターをセツトするが、同時に歯車3, 4を介して蓄勢ばね6を巻締める。次いでシャッター鉤14'を押すと、シャッター杆14の下端で回動片10の前端を押圧ばね13に逆い押し上げる。しかるときはこの回動片が枢軸11を中心として回動し、爪12が切欠8から脱出するので、巻締められた蓄勢ばね6により筒片7従つて主軸5が1回転に近く回転して、カム片18によりF P接点17を接離すると共に、連杆15を介して反射鏡16を回動させて露出を行う。しかしてシャッター鉤を釈放すれば、押圧ばね13により回動片10が復旧して切欠8が爪9と係合する。このように本案ではカメラ本体1の底部に水平に反射鏡回動用の主軸5を枢支し、かつ反射鏡取付部に近くF P接点17を設け、これを接離するカム片18を該主軸に調整可能に取付けたから、底板を外し反射鏡16の動作状態を見ながら、該カム片の位置を調整することにより、容易に最適時のF P接点閉成を行うことができる。

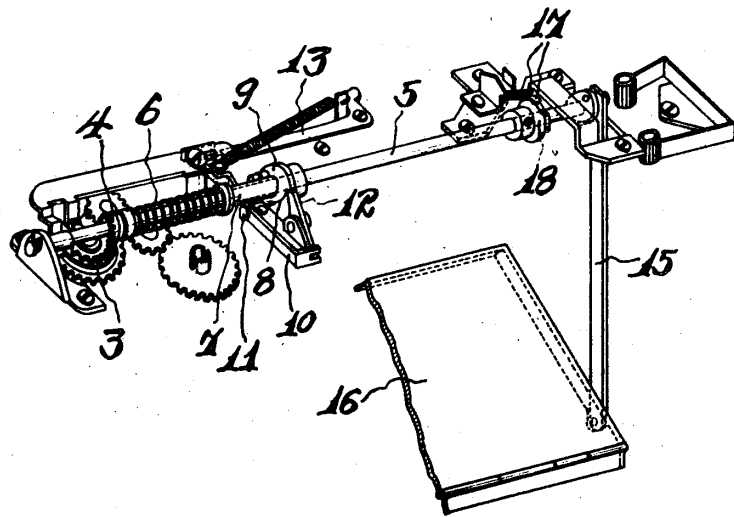
登録請求の範囲

図面に示すごとく、カメラ本体1の底部に水平に反射鏡回動用の主軸5を枢支し、この支軸の反射鏡作動部に近くF P接点17を設け、これを開閉するカム片18を該主軸に調整可能に取付けた一眼レフレックスカメラのF P接点作動装置の構造。

第1図



第2図



第3図

